

リスクアセスメント

Risk Assessment

# リスクアセスメントのメリット

---

- 物質と財産への損害の減少
- 効果的な職務遂行
- 怪我や災害の減少

# 定義：“hazard” and “risk”

---

## □ BS8800:1996

- Hazard とは
- 危害の可能性を持つ“源”または“状況”

## □ BS8800: 1996/OHSAS 1999

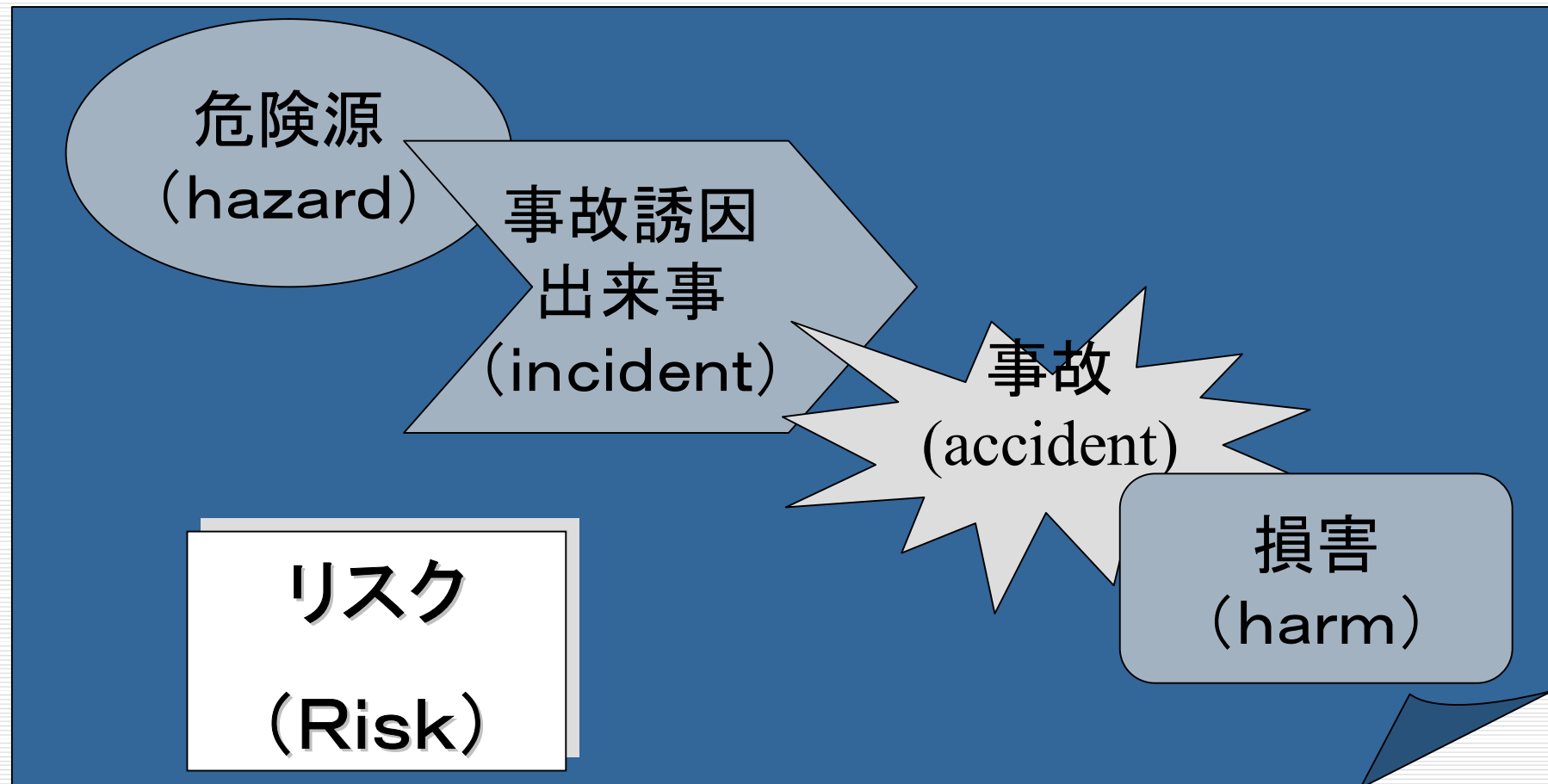
- Risk とは
- 危険事象の可能性と結果の組み合わせ

# リスクとは何か？

---

リスクは活動または出来事による悪影響の可能性とみなされる。

# リスクの概念



## リスク(個々の認識)

---

リスクは個人的な概念であり、それぞれ異なる。  
車の運転という行為を考えたとき、あなたはどのように  
リスクレベルを見積もるか？

- F1ドライバーだったら？
- タクシードライバーだったら？
- 年老いた老人だったら？

## リスク(個々の認識)

---

リスクは、個人によって異なって見える。

考えるべきもうひとつのことは、人々の認識は危険とその変化への理解が増すことによって変わるということである。

## リスク(複数要因の複合)

---

例：十分な明るさのないエリアを急いで歩いていた人が木材につまづく。

次のような質問に対する答えが要求される：

- そのエリアを歩く必要があったか、または安全な経路があったか？
- この人物が急いでいなかったら、木材に気づき、よけていたか？
- そのエリアがより明るかったら、この人物は木材をよけていたか？
- その木材を取り除くことができたか？



# リスク(ドミノ効果)

---

社会環境：  
危険にする状態

危険行為または状態：  
不十分な計画、危険な設備、危険な環境

事故：  
上記の出来事が互いに作用し、悪い何かを引き起こすときに事故  
が起きる。

けが：  
人がダメージを受けるときにけがが生じる。

## リスク(ドミノ効果)

---

けがのない事故がしばしば起き、それらはニアミス(ヒヤリ・ハット)と言われる。通常、これらのニアミスは最後のドミノが倒され、けがが生じるまで無視される。

ドミノ効果は限定的なので現実に反映されない。より正確な現実の状態は、複数要因とドミノ効果の結合によって得られる。

## 容認できるリスクレベル

---

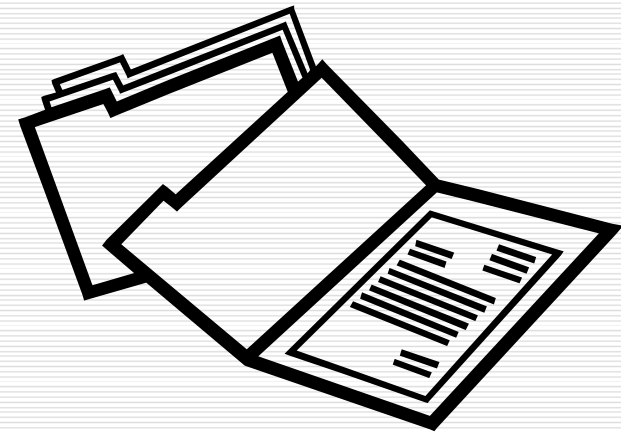
可能性のあるメリットと比較して、デメリットに対して対応することによって決定される。

どんな場合もリスク0はあり得ない  
交通事故が多くても自動車を使うのは便益が大きい  
ため。社会がリスクを許容している。

# リスクアセスメントとは

---

リスク検出のための確実な考え  
を用い、問題となる危険を評価  
すること。  
許容できるリスクを見出すことと  
も言える。



---

続く...